

# 営農ファイル

## 農産園芸部門

### 農作業メモ

#### 露地胡瓜

1. 整枝について  
一度に4本以上の摘芯は避けてください。

葉3枚以上が展開した枝の生長点を3〜4本残してください。

光が当たるように誘引し、枝の整理を行ってください。

高温が続く樹勢も衰えやすい為、収穫ピーク前の摘芯は控えてください。

2. 摘葉について  
草勢を見ながら行うが、老化葉・病害葉だけではなく、採光や通風を妨げている葉は摘葉を行きましょう。

また、摘葉と同時に不良果の摘果を行い、樹勢の回復を図ってください。

摘芯、摘葉時には、つる枯れ防除の徹底をお願いします。

3. 灌水について  
毎日の灌水を行う。少量多灌水を心がけましょう。

10 a 当たり3〜5 tを目安に液肥と合わせ灌水してください。また、通路や畦の方が乾いているようであれば排水を考え、水分過多にならないよう通路へ灌水を行ってください。

天候も良く、温度も高いため、例年より灌水量は増やすようにしてください。

4. 黄化えそ病（MYSV）について  
ミニキイロアザミウマの防除、及び圃場内の除草を徹底してください。発病株は直ちに抜根してください。

#### ニラ

まだまだ暑いが続きます。こまめな水分管理、スリップスの防除・対策をよろしくお願いします。また、台風が発生が懸念される時期でもあります。にらが倒伏しないように、中途刈りを行うなど倒伏防止に努めてください。これからの時期はさび病の発生が懸念されます。〇番出荷に向け徹底防除をよろしくお願いします。

#### トマト類

購入苗の引取り日に間に合うように計画的な圃場準備、施肥を行ってください。コナジラミの発生を防ぐ為、定植前にハウス内の農薬散布による予防をおすすめします。また、ハウス周辺の除草もしっかり行いましょう。

初期の樹づくりが大変重要となります。樹づくりの基本は根張りの促進です。根をどれだけ張らせるか、どれだけ作ってやるかが定植後1ヶ月の大きなポイントとなります。

#### イチゴ

定植まであと1ヶ月となりました。白根状態を確保し、極端な窒素切りは避けましょう。本圃への害虫の持ち込みを無くするため早期発見・防除に努めましょう。天敵やハチへの影響日数を逆算し、農薬を選定しましょう。炭疽病の発生拡大が懸念されます。切り離し後や降雨時は必ず防除を行います。風通しを良くし密植にならないようにしてください。

#### ぶどう

出荷の早い品種については、収穫終了後から翌年の生産へ向けた準備となります。そのため、べと病・ヨトウムシ、コガネムシ等の発生に注意し、早期落葉を防いでください。

出荷の遅い品種については高温に注意し、樹上灌水又は散水を行い、温度の調整を行ってください。また、土壌分析に基づいた施肥と適切な灌水を実施してください。

#### きんかん

##### 【粗摘果】

摘果を早い時期から行うと、夏芽の発生及び蕾の再出蕾を招くため、8月末から粗摘果（2個成り果、傷果）を行ってください。結果量は、結果枝の長さ・太さにより調整しますが、葉8枚に1果程度とします。

#### 露地みかん

急な雨や晴れ間の多い時期になりますので、病害虫が発生しやすくなります。前年の被害状況等を参考にしながら、黒点病・ハダニの被害を最小限に抑えて青果率を高めてください。

##### 【防除】

##### ○ハダニ

アカリタッチ（乳） 2000倍（収穫直前の場合）

##### ○カメムシ

スタークル（顆粒） 2000倍

##### ○褐色腐敗病

ランマン（FL） 2000倍又は、ライメイ（FL） 3000倍又は、アリエッティ（水） 800倍

○台風対策 事前防除 かいよう病 銅剤の散布。

##### ○黒点病

ペンコゼブ水和剤 600倍